

# 議 会 要 覧

令和3年5月（2021）



バンビィ

（イメージキャラクター）

あいつばんげまち  
福島県河沼郡会津坂下町議会

## 会津坂下町議会事務局

〒969-6592

福島県河沼郡会津坂下町字市中三番甲 3662 番地

TEL : 0242-84-1507      FAX : 0242-83-1361

URL : <https://www.town.aizubange.fukushima.jp/>

E-MAIL : [gikai@town.aizubange.fukushima.jp](mailto:gikai@town.aizubange.fukushima.jp)



町章

町村合併10周年の折、公募により町章を

坂下(ばんげ)をサカシタと読みちがいやすいので、そのひらがなをとって図案化。大きな円は地域の和、小さな円は家庭の和

縦の線はそれを有機的に結び付け、明日への発展を促進することをあらわしている。

会津坂下町の位置

- 面積 91.59km<sup>2</sup>
- 東西 11km
- 南北 14km
- 東経 139度49分
- 北緯 37度33分



令和3年4月1日現在の人口(外国人含む)

	総人口	男	女	世帯数
人数・世帯数	15,299人	7,396人	7,903人	5,873

# 会津坂下町民憲章

## 会津坂下町民憲章

わたくしたちは、美しい自然のなかにはぐくまれ、未来に向かってたくましく生きる会津坂下町民です。

わたくしたちは、先人のすぐれた心を受けつぎ、町民としての自覚と誇りをもって協力し、平和で希望にみちたまちづくりのために町民憲章を定めます。

一、自然を愛し、緑豊かな美しい

まちをつくりましょう。

一、互いに助け合い、心のふれあう

まちをつくりましょう。

一、健康で働き、活力ある

まちをつくりましょう。

一、きまりを守り、明るく住みよい

まちをつくりましょう。

一、教養を深め、文化の香り高い

まちをつくりましょう。

昭和六十年八月一日制定

町の鳥「鶯」



町の木「桜」



町の花「菊」



## 会津坂下町民歌

堀 新三郎 作詞

たなか ゆきをを 補作詞

渡部 實 作曲

山田 年秋 編曲

一、緑なす 山裾の

会津盆地は 風薫る

平和を誇り 希望に燃えて

我等町民 幸せつくる

ああ、ふるさと 会津坂下町

二、うまや路の 面影浮かべ

阿賀の流れは 水清し

瑞穂の波も 黄金に揺らぎ

我等町民 豊かに榮ゆ

ああ、ふるさと 会津坂下町

三、歌声は 高らかに

響く磐梯 飯豊山

自然を愛し 融和を胸に

我等町民 未来を語る

ああ、ふるさと 会津坂下町

# まえがき

この「会津坂下町議会 議会要覧」は、町議会について理解を深めていただくために、会津坂下町議会の構成及び活動内容を収録したものです。皆様にとって身近な議会となれるよう、努めてまいります。

なお、作成基準日は、令和3年3月31日となっております。

## 議長挨拶



日頃から町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症により生活が一変し、新しい生活様式が求められ、町の行事の多くが中止せざるを得ませんでした。

議会としましても、その対策に一早く取り組み、町へ要望を重ねてまいりました。

令和2年3月の改選により、議員数が2名減の14名となりましたが、議会一丸となり、安全・安心のまちづくりに取り組んで参ります。

今回の議会要覧は、令和2年中の議会の状況及び活動内容が掲載されております。より多くの方々に議会に興味を持っていただければ幸いです。

1日も早く新型コロナウイルスが終息し、「開かれた議会、活力ある議会」構築のため、町民と議会が意見を交わす「ばんげ未来トーク（町民懇談会）」の開催や「議会を代表しての一般質問」を実施し、町政の課題を共有しつつ、諸課題の改善策を提案していければと思います。

私たち議員14名一人ひとりが自らの責務を自覚し、議会基本条例に基づき、町民の意志を的確に町政に反映できる議会の確立を目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

会津坂下町議会議長 水野 孝一

## 目 次

1. 議長・副議長	4 ページ
2. 議員名簿	4 ページ
3. 議会運営委員会	5 ページ
4. 常任委員会	5 ページ
5. 特別委員会	6 ページ
6. 協議の場	7 ページ
7. 本会議開催状況	8 ページ
8. 委員会開催状況	8 ページ
9. 議案等の審議状況	9 ページ
10. 議事経過・概要	10 ページ
11. 請願・陳情の審査	12 ページ
12. 議決した意見書・決議	13 ページ
13. 一般質問	15 ページ
14. 議会活動	18 ページ
15. 令和3年度一般会計予算及び議会費	19 ページ
16. その他の資料（歴代正副議長、町執行部）	22 ページ

## 1. 議長・副議長

令和2年4月3日(改選による初議会)において、議長・副議長の選挙を執行した結果、以下の議員が当選し就任しました。

就任年月日	氏名
令和2年4月3日	議長 水野孝一
	副議長 青木美貴子

※議長及び副議長の任期は、議員の任期による。(法103)

※正副議長の任期について、1期2年とし再任は妨げない。(先例集125)

## 2. 議員名簿(令和3年3月31日現在)

議席	氏名	常任委員会	所属	住所
1	目黒克博	総務産建	無所属	大字宮古字中西66番地
2	蓮沼文明	文教厚生	無所属	大字塔寺字大門1476番地
3	物江政博	○文教厚生	無所属	字大道2431番地1
4	赤城大地	◎文教厚生	無所属	大字新開津字村内86番地
5	横山智代	総務産建	日本共産党	字松ノ目1564番地
6	渡部正司	◎総務産建	無所属	大字牛川字村中甲2391番地
7	小畑博司	文教厚生	無所属	大字束松字上野中819番地
8	佐藤宗太	○総務産建	無所属	大字福原字福川原911番地1
9	山口享	総務産建	無所属	字茶屋町甲3871番地1
10	渡部順子	文教厚生	無所属	大字束松字茅場1327番地
11	五十嵐一夫	文教厚生	無所属	大字坂本字上新田丁1番地
12	酒井育子	総務産建	無所属	大字気多宮字宮ノ内12番地1
13	青木美貴子	文教厚生	無所属	大字宮古字中西29番地
14	水野孝一	総務産建	無所属	大字中泉字毘沙田2022番地

◎印=委員長 ○印=副委員長 14番=議長 13番=副議長

年齢・性別内訳(平均年齢62歳)

25歳 ～45歳	46歳 ～50歳	51歳 ～55歳	56歳 ～60歳	61歳 ～65歳	66歳 ～70歳	71歳 ～85歳
2名			3名	3名	3名	3名
男 2名	男	男	男 3名	男 1名	男 2名	男 2名
女	女	女	女	女 2名	女 1名	女 1名

### 3. 議会運営委員会（令和2年3月31日現在）

議会運営委員会（4名）	
委員長	渡部 順子
副委員長	酒井 育子
委員	渡部 正司（総務産業建設常任委員会委員長）
委員	赤城 大地（文教厚生常任委員会委員長）
オブザーバー	水野 孝一（議長） 青木 美貴子（副議長）

※令和2年4月3日（改選による初議会において就任）

### 4. 常任委員会（令和2年3月31日現在）

※任期は2年とする。（会津坂下町議会委員会条例第3条）

総務産業建設常任委員会（7名）			
委員長	渡部 正司		
副委員長	佐藤 宗太		
委員	目黒 克博	横山 智代	山口 享
	酒井 育子	水野 孝一	

※令和2年4月3日（改選による初議会において就任）

※所管：総務課、政策財務課、建設課、産業課、出納室の分掌に属する事項、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項（会津坂下町議会委員会条例第2条（1））

文教厚生常任委員会（7名）			
委員長	赤城 大地		
副委員長	物江 政博		
委員	蓮 沼 文明	小畑 博司	渡部 順子
	五十嵐 一夫	青木 美貴子	

※令和2年4月3日（改選による初議会において就任）

※所管：生活課の分掌に属する事項及び教育委員会の所管に属する事項

（会津坂下町議会委員会条例第2条（2））

## 5. 特別委員会

議会改革特別委員会（6名）				
委員長	物江政博			
副委員長	小畑博司			
委員	目黒克博	横山智代	渡部正司	山口享

※令和2年6月4日（令和2年第2回定例会において設置）

行財政改革検討特別委員会（6名）				
委員長	佐藤宗太			
副委員長	蓮沼文明			
委員	赤城大地	渡部順子	五十嵐一夫	酒井育子

※令和2年6月4日（令和2年第2回定例会において設置）

広報広聴特別委員会（5名）				
委員長	青木美貴子			
副委員長	横山智代			
委員	目黒克博	蓮沼文明	小畑博司	

※令和2年4月3日（改選による初議会において設置）

※副議長は委員長となる（先例集80）

予算特別委員会（14名）				
委員	目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地
	横山智代	渡部正司	小畑博司	佐藤宗太
	山口享	渡部順子	五十嵐一夫	酒井育子
	青木美貴子	水野孝一		

決算特別委員会（13名）				
委員	目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地
	横山智代	渡部正司	小畑博司	佐藤宗太
	山口享	渡部順子	五十嵐一夫	青木美貴子
	水野孝一			



## 6. 協議の場

協議の場とは、本会議、委員会以外で会議の運営に関して協議を行うための公の会議のことをいいます。

議会全員協議会（14名）				
目黒克博	蓮沼文明	物江政博	赤城大地	横山智代
渡部正司	小畑博司	佐藤宗太	山口享	渡部順子
五十嵐一夫	酒井育子	青木美貴子	水野孝一	

政策会議（5名）		
水野孝一 （議長）	青木美貴子 （副議長）	渡部正司 （総務産建委員長）
赤城大地 （文教厚生委員長）	渡部順子 （議会運営委員長）	

※議会は、町民の声や議員からの問題提起等について、その諸課題の調整や整理を行うために政策会議を置く。（政策会議規程1）

※会議は、議長、副議長、議会運営委員長及び各常任委員長をもって構成し、議長が招集する。（政策会議規程2）

### 【その他】

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員	五十嵐一夫	山口享
監査委員（議会選出）	酒井育子	
国民健康保険運営協議会委員	赤城大地	
会津若松地方土地開発公社理事	渡部正司	

## 7. 本会議開催状況

	本会議			一般質問者	傍聴人 延人数
	会期				
	期間	日数	会議日数		
第1回定例会	2月19日～ 3月4日	15日間	7日間	8人	19人
第2回定例会	6月4日～ 6月12日	9日間	5日間	6人	12人
第3回定例会	9月3日～ 9月15日	13日間	7日間	10人	26人
第4回定例会	12月3日～ 12月11日	9日間	5日間	9人	26人
第1回臨時会	4月3日	1日間	1日間		0人
第2回臨時会	5月13日	1日間	1日間		
第3回臨時会	7月22日	1日間	1日間		
第4回臨時会	10月20日	1日間	1日間		
第5回臨時会	11月5日	1日間	1日間		
第6回臨時会	11月27日	1日間	1日間		

## 8. 委員会開催状況

区分	委員会名	開催日数	備考
常任委員会	総務（令和2年3月まで）	1日間	内閉会中 0日
	産業建設（ 〃 ）	2日間	内閉会中 1日
	総務産業建設 （令和2年4月より）	4日間	内閉会中 3日
	文教厚生	6日間	内閉会中 1日
議会運営委員会	議会運営	16日間	内閉会中 9日
特別委員会	広報広聴	18日間	内閉会中 14日
	議会改革	5日間	内閉会中 2日
	行財政改革検討	6日間	内閉会中 3日
	予算・決算	7日間	内閉会中 1日
その他協議の場	議会全員協議会	30日間	内閉会中 20日
	政策会議	8日間	内閉会中 8日

## 9. 議案等の審議状況

		第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	第1回 臨時会	第2回 臨時会	第3回 臨時会	第4回 臨時会	第5回 臨時会	第6回 臨時会	計
町長 提出 議案	専決 条例		2				2					4
	専決 予算			1			2			1		4
	条 例	9	4	3	4		1				1	22
	予 算	15	7	7	6		1	1			7	44
	決 算			8								8
	そ の 他	2	12	8		1			1	1		25
	合 計	26	25	27	10	1	6	1	1	2	8	107
結 果	承 認		2	1			4			1		8
	認 定			8								8
	可 決	24	13	15	10		2	1	1	1	8	75
	否 決											0
	同 意	2	10	3		1						16
	不 認 定											0
	撤 回											0
	否 決											0
	合 計	26	25	27	10	1	6	1	1	2	8	107
議 員 提 出 議 案	条 例	1										1
	規 則	1										1
	意 見 書		2	1	1		1					5
	決 議											0
	そ の 他		2	2								4
	合 計	2	4	3	1	0	1	0	0	0	0	11
結 果	可 決	2	4	3	1		1					11
	否 決											0
	継 続 審 査											0
	合 計	2	4	3	1	0	1	0	0	0	0	11
請 願	提 出 件 数	0	2	3	1	0	1	0	0	0	0	7
	採 択		2	2	1		1					6
	不 採 択			1								1
	継 続 審 査											0
陳 情	提 出 件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	採 択											0
	不 採 択											0
	継 続 審 査											0

### 町長報告

	番号	件名
第2回定例会	第2号	会津若松地方土地開発公社経営状況の報告について
	第3号	株式会社会津ばんげ公共サービス経営状況の報告について
	第4号	株式会社湯川会津坂下経営状況の報告について
	第5号	私債権の放棄の報告について
	第6号	繰越明許費繰越計算書について 会津坂下町一般会計予算
	第7号	繰越明許費繰越計算書について 会津坂下町下水道事業特別会計予算
	第8号	繰越明許費繰越計算書について 会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計予算
	第9号	会津若松地方土地開発公社経営状況の報告について
第3回定例会	第10号	株式会社会津ばんげ公共サービス経営状況の報告について
	第11号	株式会社湯川会津坂下経営状況の報告について
第2回臨時会	第1号	専決処分の報告について
		専決第4号 損害賠償の額の決定について

## 10. 議事経過・概要

区分	会期	開催月日	本会議 出席 議員数	議事の概要	
第1回 定例会	15日間	2月19日	16人	招 集 日	町長提出議案の説明
		2月25日	16人	一 般 質 問	5人登壇
		2月26日	16人	一 般 質 問	3人登壇
		2月27日	16人	常任委員会	所管議案審査、進捗状況の報告
		2月28日	16人	予算委員会	一般会計分について審査
		3月2日	16人	予算委員会	特別会計分について審査
		3月4日	16人	最 終 日	提出議案の採決

区分	会期	開催月日	本会議 出席 議員数	議事の概要	
第2回 定例会	9日間	6月4日	14人	招 集 日	町長提出議案の説明
		6月8日	14人	一 般 質 問	3人登壇
		6月9日	14人	一 般 質 問	3人登壇
		6月10日	14人	常任委員会	所管議案審査、進捗状況の報告
		6月12日	14人	最 終 日	提出議案の採決

区分	会期	開催月日	本会議 出席 議員数	議事の概要	
第3回 定例会	13日間	9月2日	14人	招 集 日	町長提出議案の説明
		9月6日	14人	一 般 質 問	6人登壇
		9月7日	14人	一 般 質 問	4人登壇
		9月8日	14人	常任委員会	所管議案審査、進捗状況の報告
		9月9日	14人	決算委員会	一般会計分について審査
		9月10日	14人	決算委員会	特別会計分について審査
		9月14日	14人	最 終 日	提出議案の採決

※決算特別委員会には、議会選出監査委員は出席者として含まれない。

区分	会期	開催月日	本会議 出席 議員数	議事の概要	
第4回 定例会	9日間	12月2日	14人	招 集 日	町長提出議案の説明
		12月6日	14人	一 般 質 問	5人登壇
		12月7日	14人	一 般 質 問	4人登壇
		12月8日	14人	常任委員会	所管議案審査、進捗状況の報告
		12月10日	14人	最 終 日	提出議案の採決

区分	会期	開催月日	本会議 出席 議員数	議事の概要	
第1回 臨時会	1日間	4月3日	14人	改選後の初議会 正副議長、各常任委員長等の互選 議席番号の確定	
第2回 臨時会	1日間	5月13日	14人	新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の 交付に伴う補正予算の審議等	
第3回 臨時会	1日間	7月22日	14人	新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金の 交付に伴う補正予算の審議等	
第4回 臨時会	1日間	10月20日	14人	小中学校GIGAスクール整備事業に伴う児 童生徒一人につき一台のタブレット端末整備 に関する補正予算の審議等	
第5回 臨時会	1日間	11月5日	14人	両沼地方発熱外来設置に伴う補正予算の審議 等	
第6回 臨時会	1日間	11月27日	14人	県人事委員会勧告による職員の期末手当を 0.05月減額	

## 1 1. 請願・陳情の審査

### (1) 請願

受理年月日	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果
第1号 4月28日	飲食業・観光業等に携わる中小事業者の救済及び地方経済のための対策のさらなる加速を求める意見書提出の請願について	会津坂下町商工会会長 五十嵐正康	物江政博 赤城大地		採択
第2号 5月25日	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	福島県教職員組合中央執行委員長 國分俊樹 福島県教職員組合両沼支部長 横田恵一	横山智代 小畑博司	文教 厚生	採択
第3号 5月28日	福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力第一原発敷地内に保管されているトリチウム汚染水の海洋放出に反対する請願について	会津の大地と健康を守る会 代表 千葉親子	横山智代 佐藤宗太	文教 厚生	不採択
第4号 8月26日	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する請願書	福島県原爆被害者協議会 会長 木幡吉輝	五十嵐一夫 小畑博司	総務 産業 建設	不採択
第5号 8月27日	新型コロナウイルス対策に支援を求める意見書の提出を求める請願について	会津の大地と健康を守る会 代表 千葉親子	横山智代 佐藤宗太	文教 厚生	採択
第6号 9月2日	県立高等学校改革における坂下高等学校・大沼高等学校の統合・再編について地域実態に合った統合・再編にするために継続協議を求める請願書	福島県立坂下高等学校同窓会長 渡辺東助	酒井育子 佐藤宗太	文教 厚生	採択

第7号 11月24日	「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書	福島県教職員組合 両沼支部長 横田恵一	横山智代 渡部正司	文教 厚生	採択
---------------	---	---------------------------	--------------	----------	----

(2) 陳情・・・令和2年度中の陳情の提出はありませんでした。

- 陳情で郵送の者は、受理せず議長預かりとし写しを議員に配布する。(先例集 92)
- 請願・陳情の受理は、告示前2日前、正午までとする。ただし土日・祝日は日数に含まない。(先例集 93)
- 本会議開会日の翌日、正午までに提出されたもので、急を要すると認められるものは、一般質問2日目に各常任委員会に付託する。(先例集 94)
- 自分の所属する常任委員会に付託が予想される場合は、承認委員会の公正な審査の確保上から請願書の紹介議員には原則としてならない。(先例集 95)
- 委員会報告における請願・陳情の審査経過と結果の報告は各委員長が行う。なお、各委員会において、継続調査となったものについては、本会議での報告を省略して、継続審査の申し出をする。(先例集 98)
- 請願は、会期の最終日に採決する。(先例集 102)

## 12. 議決した意見書・決議

区分	番号	件名	送付先
第2回臨時会	議員提出議案 第4号	飲食業・観光業等に携わる中小事業者の救済及び地方経済救済のための対策のさらなる加速を求める意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 経済産業大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 経済再生担当
第2回定例会	議員提出議案 第7号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	復興大臣 文部科学大臣 総務大臣 財務大臣

区分	番号	件名	送付先
第2回定例会	議員提出議案 第8号	福島県の漁業と漁業関係者の生活を守るために東京電力福島第一原発敷地内に保管されているトリチウムを含む処理水の海洋放出に反対する意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 経済産業大臣 復興大臣 福島県知事
第3回定例会	議員提出議案 第9号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 内閣官房長官 財務大臣 総務大臣 厚生労働大臣 経済産業大臣 経済再生担当大臣 まち・ひと・しごと創生担当
	議員提出議案 第10号	新型コロナウイルス対策に支援を求める意見書の提出について	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 内閣官房長官 内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
	議員提出議案 第11号	県立高等学校改革における坂下高等学校・大沼高等学校の統合・再編について地域実態に合った統合・再編にするために継続協議を求める意見書	福島県知事 福島県教育長
第4回定例会	議員提出議案 第12号	国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書の提出について	内閣総理大臣 財務大臣 文部科学大臣



### 13. 一般質問

- 一般質問の通告受付期間は、定例会開催日の8日前の午前8時30分から午後5時まで及び7日前の午前8時30分から正午までとし、本人が持参提出する。(規則 61) (先例集 59)
- 所属常任委員会関係の質問は、原則としてなるべくしないものとする。(先例集 63)
- 一般質問の時間は、質疑答弁を含め一人50分とし、質問回数は制限しない。(先例集 67)
- 議会を代表しての一般質問は、議会総意での懸案事項があった場合開催する。(平成31年第1回定例会より導入 先例集 71)

#### 第1回定例会

番号	議員名	要 旨
1	五十嵐正康	会津坂下町の財政健全化と明るい将来像について 会津坂下町の産業の活性化について
2	五十嵐一夫	町の活性・振興に欠かせない、宿泊企業誘致活動の取り組みを問う 交流人口拡大にトイレは喫緊の課題 生活交通としての公共交通バス対策事業取り組みを問う
3	横山智代	環境・ゴミ減量等について 教育行政について 職員の人材育成について
4	佐藤宗太	災害と防災について 自己財源確保について 将来に求められる IT や国際化へ向けた教育環境について 冬期間の通学バスの無料化についてどのような検討がなされたのか
5	渡部正司	地域づくりについて 役場窓口対応について
6	小畑博司	ばんげ学を進化させ、町の担い手を育てよう ふるさと回帰の機運を活かせ
7	赤城大地	第六次振興計画実施計画について 街なか賑わい創出事業及び企業誘致推進事業について、従来の中心市街地、工業団地などの固定観念に捉われていると感じる。これらについては、ひとつのことと考え、柔軟に取り組むべきと考えるが、所見と可能性を伺う 地域づくり推進事業について
8	物江政博	鳥獣被害について 町道について

## 第2回定例会

番号	議員名	要 旨
1	五十嵐一夫	<p>国定公園の指定が実現するのか</p> <p>コロナ禍によるこれからの町職員の対応、庁舎のあり方について</p> <p>公園の維持管理の現状とこれからのあり方について</p>
2	物江政博	<p>新型コロナウイルスについて</p> <p>有害鳥獣駆除について</p>
3	横山智代	<p>教育行政について</p> <p>介護保険地域支援事業について</p> <p>職員の人材育成について</p>
4	小畑博司	<p>コロナウイルス禍への対応を問う</p>
5	佐藤宗太	<p>コロナ禍における教育行政について</p> <p>コロナ禍における福祉行政について</p>
6	渡部正司	<p>幼・小・中の学びの保障について</p>

## 第3回定例会

番号	議員名	要 旨
1	五十嵐一夫	<p>町役場庁舎移転を着々進めるべく、用地の確保を先行すべきである</p> <p>東第一土地区画整理事業の進行について、桜木町の都市計画道路の進捗行程を示せ</p> <p>町民の指摘と、日常において気が付いたこと</p>
2	横山智代	<p>教育行政について</p> <p>新型コロナウイルスへの対応について</p> <p>健康管理センターの運営について</p> <p>国民健康保険税について</p>
3	青木美貴子	<p>人口減少対策について</p> <p>下水道工事進捗状況について</p> <p>コロナ禍によるふるさと納税、町物産物流はどうなっているのか</p> <p>来年度の地方交付税、交付額について</p>
4	蓮沼文明	<p>コロナ禍における会津坂下町の経済的損失額について</p> <p>コロナ禍においての町スポーツ振興事業の取り組みの現状と今後の対応について</p> <p>町の指定管理者制度及びアダプト制度について</p>
5	渡部正司	<p>「SDGs 未来都市ばんげ」を創ろう</p>
6	目黒克博	<p>医療費削減の方策を問う</p> <p>新型コロナウイルスの第二波対策とメンタルヘルスについて問う</p>
7	小畑博司	<p>持続可能なまちづくりをどのように展開するか</p> <p>農業の活性化でまちづくりを推進しよう</p>

8	赤城大地	自主防災組織の育成事業について 水害予防対策について
9	物江政博	有害鳥獣駆除について 防災行政について
10	佐藤宗太	町民福祉について 産業について 情報発信について

#### 第4回定例会

番号	議員名	要 旨
1	五十嵐一夫	「道の駅」現状で満足するのか、これから変えていくのか 移住・定住の現状、実績、コロナ禍による影響をふまえ、今後どのように取り組んでいくのか これからの坂下旧町内の街区形成に、空き地・空き家対策を兼ねたご寄付による道路整備を
2	横山智代	来年度の予算方針について 介護保険料について 町の「ねたきり高齢者等紙おむつ給付事業」は再開すべき事業と思うが町の考えを伺う 町職員の適材適所への配置について
3	山口享	町長の政治姿勢について コロナウイルス感染症の影響について 町の地域振興策について
4	渡部順子	町の花、菊植栽による活性化について 坂下駅トイレ改修について 町下水道と農業集落排水事業について 閉校となった園舎・校舎について
5	佐藤宗太	町長の政治姿勢について 財政について コロナウイルス感染症対策について コロナ禍における学校教育のあり方について
6	小畑博司	長引くコロナ禍への対応は 新庁舎建設を問う
7	蓮沼文明	近年の会津坂下町の企業誘致対策事業について 公共施設におけるネーミングライツ制度について 春日八郎おもいで館の案内看板について

8	目黒克博	セイタカアワダチソウ・ブタクサ等の外来種植物の駆除対策について 問う 消防協力隊について問う
9	渡部正司	ばんげの通信簿

## 14. 議員活動

### (1) 議員研修等

月日	研修会名	出席者	講師	研修内容
1月27日	県町村議会議員研修会	議員全員	自治通信社解説委員 山田恵資氏 他	日本の政局・政治の行方 他
8月28日	議員と職員の合同研修会	議員全員 課長他	関西学院大学院教授 小西砂千夫氏	財政の基礎及び当町の財政状況と議員としての取り組みについて
10月8日	県町村議会議員研修会	議員全員	早稲田大学院教授 片山善博氏 他	ポストコロナの地方自治を考える 他
11月20日	議員研修会 (オンライン)	議員全員	山梨学院大学教授 江藤俊昭氏 他	議会改革の最前線 他

### (2) ばんげ未来トーク

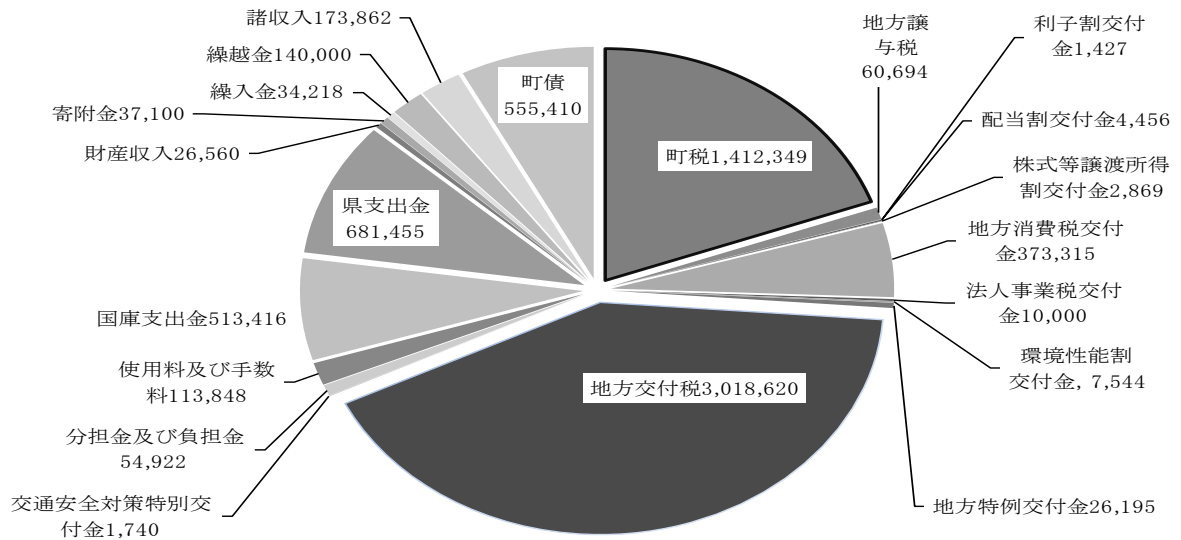
月日	テーマ	参加者	担当
1月16日	防災と今後の会津坂下町について	川西地区地域づくり協議会熟年講座会員 25名	総務委員会
上記以降は新型コロナウイルス感染症拡大により開催できませんでした。			

### (3) 要望

月日	内容	提出先
5月8日	新型コロナウイルス感染症による医療崩壊を防止するための要望書	町

## 15. 令和3年度一般会計予算及び議会費

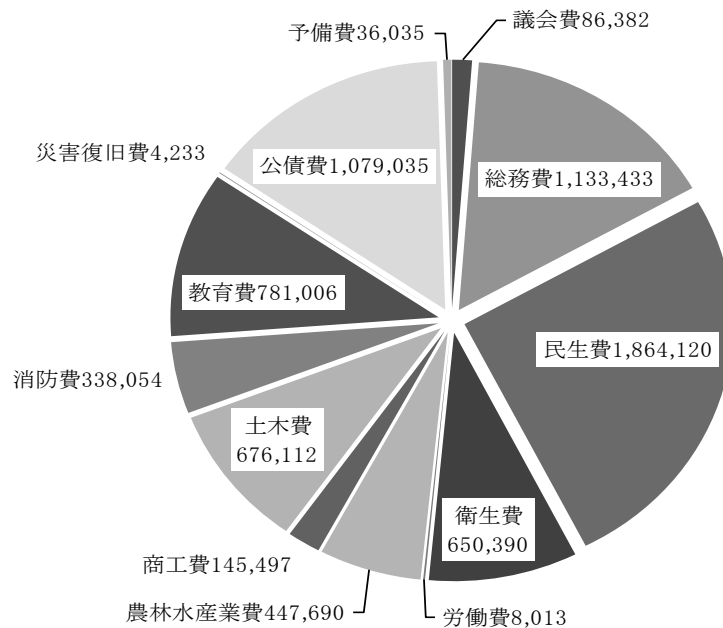
### 令和3年度 一般会計当初予算(歳入)



令和3年度の当初予算は、前年度当初予算から4億3,000万円増の72億5,000万円となりました。地方交付税は国の地方財政の見通しや社会保障の充実、新たに地域デジタル社会推進費の創設が盛り込まれたことにより、前年度から2億779万2千円の増となりました。町債はコロナ禍の影響により普通交付税の原資となる国税の減収分を臨時財政対策債の増額により補うこと、また坂下厚生総合病院の建設負担金の一部へ充てる地方債を発行することにより、前年度から2億4,524万7千円増となりました。いずれも、感染拡大が続いている新型コロナウイルス感染症の対策に万全を期し、アフターコロナを見据え、第六代会津坂下町振興計画に示した「やっぱり“ばんげがいい！””と思えるまちを目指し、実施計画に基づき各種事業に積極的に取り組んで行くための予算編成となっています。

費目	予算額(千円)	割合(%)
町税	1,412,349	19.48
地方譲与税	60,694	0.84
利子割交付金	1,427	0.02
配当割交付金	4,456	0.06
株式等譲渡所得割交付金	2,869	0.04
地方消費税交付金	373,315	5.15
法人事業税交付金	10,000	0.14
環境性能割交付金	7,544	0.10
地方特例交付金	26,195	0.36
地方交付税	3,018,620	41.64
交通安全対策特別交付金	1,740	0.02
分担金及び負担金	54,922	0.76
使用料及び手数料	113,848	1.57
国庫支出金	513,416	7.08
県支出金	681,455	9.40
財産収入	26,560	0.37
寄附金	37,100	0.51
繰入金	34,218	0.47
繰越金	140,000	1.93
諸収入	173,862	2.40
町債	555,410	7.66
歳入合計	7,250,000	100.00

## 令和3年度 一般会計当初予算（歳出）



歳出においては、町民の生活を守るため、新型コロナウイルス感染症予防対策の予算を最優先で確保するとともに、第六次会津坂下町振興計画実施計画で「重点的に進めること」として示した事業を中心に、子育て・教育、健康づくり、福祉の充実、産業・商工業の振興などを図るための予算としました。また、新しい生活様式に対応した若者による地域づくり推進事業や地域づくり事業など、まちづくりに住民が参画するしくみづくりのため、コミュニティセンターを中心に各種事業に取り組む予算となっています。

費目	予算額(千円)	割合(%)
議会費	86,382	1.19
総務費	1,133,433	15.63
民生費	1,864,120	25.71
衛生費	650,390	8.97
労働費	8,013	0.11
農林水産業費	447,690	6.18
商工費	145,497	2.01
土木費	676,112	9.33
消防費	338,054	4.66
教育費	781,006	10.77
災害復旧費	4,233	0.06
公債費	1,079,035	14.88
予備費	36,035	0.50
歳出合計	7,250,000	100.00

### 【議会費の主な内容】

名称	予算額(千円)	内容
広報紙面電子化業務	3,080	議会代より第1号(昭和47年11月1日発行)から第200号(令和3年1月25日発行)分のデータ化及び製本
永年勤続功労表彰等	168	議員として在職満21年に達した者を掲額議員として表彰を行う(表彰状・掲額写真を贈る)
議員共済会負担金	12,419	議員年金制度廃止に伴う経過措置としての共済給付金の給付に要する費用
費用弁償・研修旅費等	2,400	会議出席時の費用弁償及び視察研修等の旅費等

令和3年度議会費当初予算

(単位：千円)

節 区 分	金 額	説 明
1 報 酬	38,532	議 長 月 299 年額 3,588 副 議 長 月 242 年額 2,904 常任委員長 (3人) 月 227 年額 8,172 議 員 (9人) 月 221 年額 23,868
2 給 料	8,597	職 員 (2人)
3 職 員 手 当 等	16,437	議 員、職 員
4 共 済 費	12,419	共済掛金負担金
7 報 償 費	55	議員改選記念写真等
8 旅 費	2,400	費 用 弁 償 220 研 修 旅 費 1,484 普 通 旅 費 696
9 交 際 費	350	議長交際費
10 需 用 費	1,402	消 耗 品 費 215 印 刷 製 本 費 1,187
11 役 務 費	110	広 告 料 99 手 数 料 11
12 委 託 料	3,980	会 議 録 調 製 業 務 787 広 報 紙 面 電 子 化 業 務 3,080 議 員 永 年 勤 続 功 労 者 肖 像 画 113
13 使用料及び賃借料	747	駐 車 場 7 賃 借 料 740 (議長車リース代)
17 備 品 購 入 費	94	保 管 庫 (議員控室用鍵付きロッカー)
18 負担金補助及び交付金	1,259	両沼地方町村議会議長会 1,036 議員共済会 210 非常勤職員公務災害補償組合 13

## 16. その他資料（歴代正副議長、町執行部）

年度	議長	副議長	町長	助役 副町長 (H19.4.1～)	教育長	収入役 会計管理者 (H19.4.1～)
昭和30	広木 三郎次	佐藤 弥三次	佐藤 金三郎	石田 功	松田 重吉	佐藤 源衛
31～32	賀川 常盛	廣木 徳三郎	〃	〃	〃	〃
33～34	〃	長谷川 庄平	〃	〃	〃	〃
35～36	長谷川 庄平	五十嵐 賢吉	〃	〃	〃	〃
37	〃	赤城 勝良	〃	〃	〃	〃
38	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	赤城 勝良	佐藤 菊次郎		〃	藤山 秀雄	〃
39～41	五十嵐 賢吉	〃	〃	〃	〃	〃
42	〃	〃	二瓶 喜元	〃	〃	〃
43	〃	小池 昭男	〃	高橋 宏次	〃	佐瀬 常夫
44～45	〃	〃	〃	〃	〃	〃
					〃	
46	平野 睦雄	〃	〃	〃	生江 等	〃
47～48	矢沢 昭七	渡部 久	〃	〃	〃	〃
49	佐藤 菊次郎	広木 久弥	〃	〃	〃	〃
50	〃	〃	菊地 行雄	〃	〃	〃
					〃	
51～52	渡部 久	小池 健男	〃	三橋 貞男	阿部 浩	高梨 次郎
53～54	小池 健男	丸山 豊美	〃	〃	〃	〃
55～58	山口 林助	斎藤 善弘	〃	〃	〃	〃
					〃	
59～60	〃	鈴木甲子郎	〃	大竹 博	佐藤 聰	荒井 昭平
61	稲垣 浩平	五十嵐 進	〃	〃	〃	〃
62	〃	〃	山口 林助	〃	〃	〃
63～平成元	〃	土井 昭	〃	〃	〃	〃
2～3	〃	新井田 忠	〃	〃	〃	〃
					〃	
4～5	〃	大竹 学	〃	宇内 貞男	芦沢 建	小林 一男
6～7	堀 新平	中島 隆一	〃	〃	〃	〃
8～9	〃	佐藤 浩平	〃	〃	〃	〃
10	青木 正昭	成田 庄一	〃	〃	〃	〃
11	〃	〃	竹内 昶俊	大平 正芳	〃	〃
12～13	〃	高橋 勝明	〃	〃	高久 庄三	荒明 裕一
14～15	斎藤 文英	小林 昭一	〃	安藤 正	〃	〃
					〃	〃
16～17	〃	〃	〃	佐賀 勝	〃	山口 行雄
18	渡部 三郎	水野 孝一	〃	沼木 裕	〃	会計管理者は、
19	〃	〃	〃	〃	堀 幸一郎	地方自治法改
20～21	小林 昭一	千葉 親子	〃	〃	〃	正により、平成
22	〃	古川 庄平	〃	〃	〃	19年4月1日より
23	〃 ～9.30	〃 ～9.30	〃	〃	〃	新設された役職
	成田 庄一	水野 孝一	〃	〃	佐藤 玄	であり、特別職
24	齋藤 善平	五十嵐 一夫	〃	〃	〃	ではなく、一般
					〃	職であり、議会
25	〃	〃	〃	〃	〃	の同意を得ること
				日下 亮	〃	なく長が任命
26	古川庄平	猪俣恒雄	齋藤 文英	〃	〃	できることとな
27	〃	〃	〃	〃	〃	ったため、記載し
28	〃	〃	〃	〃	〃	ない。
29	〃	〃	〃	〃	〃	
30～令和元	〃	〃	〃	〃	鈴木 茂雄	
2～3	水野孝一	青木美貴子	〃	〃	〃	